

三重県議会の広聴広報にかかる県民意識調査結果

<アンケートの概要>

- 1 目的 県議会の広聴広報活動の改善に活用する。
- 2 実施期間 令和元年11月22日（金）から12月6日（金）まで
- 3 対象 県民（三重県IT広聴事業（e-モニター）制度登録者）
- 4 回答率 59.4%（対象者数：1,071名、回答者数：636名）

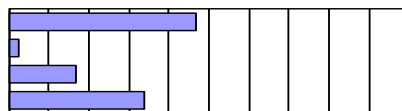
<アンケート結果>

I 県議会に対する関心度について

【県議会への関心度について】

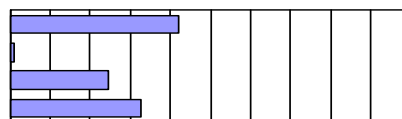
Q1. あなたは県議会または県行政に関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	回答数	割合%
県議会、県行政ともに関心がある	298	46.9%
県議会には関心があるが、県行政には関心がない	15	2.4%
県議会には関心がないが、県行政には関心がある	107	16.8%
県議会、県行政ともに関心がない	216	34.0%
合計	636	100.0%



（参考 平成23年の結果）

	回答数	割合%
県行政及び県議会の両方とも関心がある	448	41.9%
県議会には関心があるが、県行政には関心がない	12	1.1%
県行政には関心があるが、県議会には関心がない	260	24.3%
県行政及び県議会の両方とも関心がない	348	32.6%
合計	1,068	100.0%



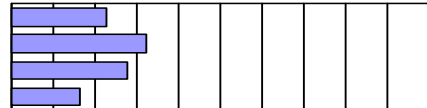
Q2. Q1で「県議会には関心がないが、県行政には関心がある」「県議会、県行政ともに関心がない」を選んだ方にお聞きします。その理由を教えてください。（自由記載）

→計219件のご意見をいただきました。（9～17ページ参照）

【議会の役割に対する認知度について】

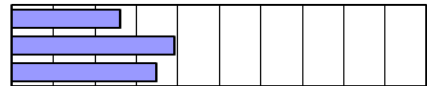
Q 3. 県議会は、知事等の事務の執行について監視・評価を行うだけでなく、県政の重要な事項（条例、予算、総合計画等）を決定するとともに、県政の課題について独自に調査し、政策立案（議員提出条例や意見書の決議等）及び政策提言等を行っています。あなたは、議会のこうした役割をご存じでしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

	回答数	割合%
知っていた	147	23.1%
少し知っていた	207	32.5%
ほとんど知らなかった	177	27.8%
全く知らなかった	105	16.5%
合計	636	100.0%



(参考 平成 23 年の結果)

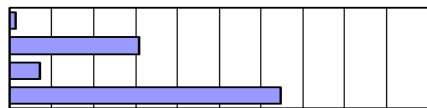
	回答数	割合%
知っていた	277	25.9%
少し知っていた	418	39.1%
ほとんど知らなかった	373	34.9%
合計	1,068	100.0%



【議会の会議の視聴度について】

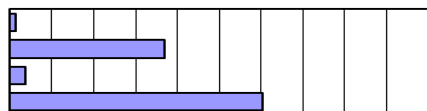
Q 4. あなたは、県議会の会議（本会議、常任委員会、特別委員会、全員協議会など）を見たことがありますか。あてはまるものを全て選んでください。

	回答数	割合%
議事堂で傍聴したことがある	9	1.4%
テレビ中継を見たことがある	197	31.0%
インターネット中継・録画を見たことがある	45	7.1%
どれも見たことがない	411	64.6%
投票者	636	



(参考 平成 23 年の結果)

	回答数	割合%
議事堂で傍聴したことがある	14	1.3%
テレビ中継を見たことがある	395	37.0%
インターネット中継・録画を見たことがある	39	3.7%
見たことがない	645	60.4%
投票者	1,068	

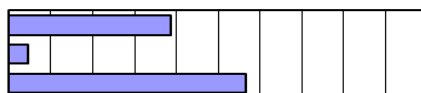


II 広聴事業について

【みえ現場 de 県議会について】

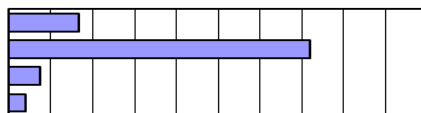
Q 5. 県議会では、多様な県民の意見を県議会に取り入れる広聴機能を強化するため、県政の重要課題等をテーマに設定して、関係団体や県民の皆さんと意見交換を行う「みえ現場 de 県議会」を年2回程度開催しています。あなたは、この取り組みについてどう思われますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	回答数	割合%
良い取り組みである。(自ら参加してみたい(参加した))	246	38.7%
あまり良い取り組みとは思わない	29	4.6%
よくわからない	361	56.8%
合計	636	100.0%



(参考 平成23年の結果)

	回答数	割合%
良い取り組みであり、自ら参加してみたい(参加した)	178	16.7%
良い取り組みと思うが、自ら参加するつもりはない	768	71.9%
あまり良い取り組みとは思わない	80	7.5%
その他	42	3.9%
合計	1,068	100.0%

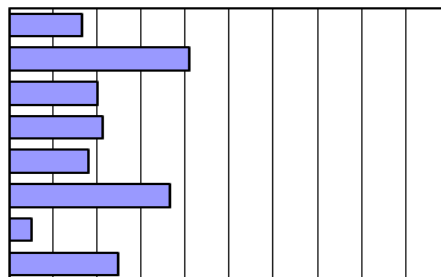


Q 6. Q 5で「あまり良い取り組みとは思わない」と答えた方にお聞きします。その理由を教えてください。(自由記載)

→ 計26件のご意見をいただきました。(18～19ページ参照)

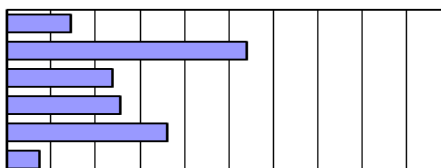
Q 7. あなたは、今後、「みえ現場 de 県議会」をより良いものとするために、どのようにするとよいと思いますか。あてはまるものを全て選んでください。

	回答数	割合%
開催回数を増やしてほしい	105	16.5%
県内各地域で開催してほしい	260	40.9%
意見交換のテーマ数を増やしてほしい	128	20.1%
テーマを限定せず、自由に意見を述べるができる場にしてほしい	135	21.2%
<small>テーマや、そのテーマに基づき意見交換を行う団体を、県民に公募してほしい(令和元年度第2回「みえ現場de県議会」はテーマ等について初めて公募を行いました。)</small>	115	18.1%
できるだけ多くの人に参加できるように配慮してほしい	232	36.5%
その他	32	5.0%
よくわからない	157	24.7%
投票者	636	



(参考 平成23年の結果)

	回答数	割合%
開催回数を増やしてほしい	153	14.3%
県内各地域で開催してほしい	576	53.9%
意見交換のテーマ数を増やしてほしい	255	23.9%
テーマを限定せず、自由に意見を述べるができる場にしてほしい	274	25.7%
できるだけ多くの人に参加できるように配慮してほしい	385	36.0%
その他	80	7.5%
投票者	1,068	

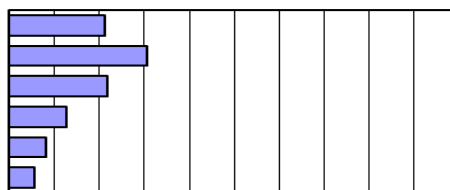


Ⅲ 広報事業について

【みえ県議会だより（広報紙）について】

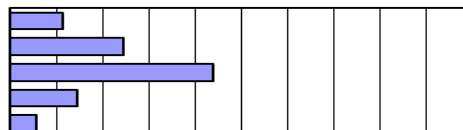
Q 8. 県議会では、年間7回「みえ県議会だより」を発行し、発行月の第1日曜日に新聞に折り込んでお届けするほか、身近な施設等にも配置しています。〔折り込みを行う新聞…朝日、伊勢、産経、中日、毎日、読売、日経の7紙（朝刊）〕
あなたは、「みえ県議会だより」をお読みになったことはありますか。

	回答数	割合%
毎回読む	135	21.2%
ときどき読む(年間3~6回)	195	30.7%
あまり読んだことがない(年間1~2回)	139	21.9%
発行されていることを知っているが、まったく読んだことがない	80	12.6%
発行されていることを知らなかったが、今後読んでみたい	51	8.0%
発行されていることを知らなかったが、今後も読んでみたいとは思わない	36	5.7%
合計	636	100.0%



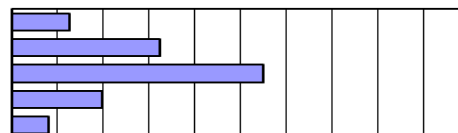
Q 9. 「みえ県議会だより」を読んだことがある方にお聞きします。
あなたは、「みえ県議会だより」について、どのような点を改善すればよいと思いますか。あてはまるものを全て選んでください。

	回答数	割合%
ページ数を増やして、より詳しく記載した方がよい	71	11.5%
記事を重要課題に絞って、詳しく記載した方がよい	151	24.5%
図やイラストをもっと使って分かりやすく記載した方がよい	270	43.8%
デザインやレイアウトを工夫した方がよい	90	14.6%
その他	35	5.7%
合計	617	100.0%



(参考 平成23年の結果)

	回答数	割合%
ページ数を増やして、より詳しく記載した方がよい	134	12.5%
記事を重要課題に絞って、詳しく記載した方がよい	346	32.4%
図やイラストをもっと使って分かりやすく記載した方がよい	588	55.1%
デザインやレイアウトを工夫した方がよい	211	19.8%
その他	85	8.0%
合計	1,068	

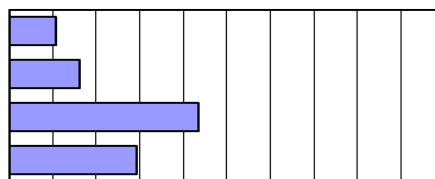


【みえ県議会新聞（新聞企画広報）について】

Q10. 県議会では、年2回、行政部門別常任委員会等について、県民の皆さんにダイジェストでお伝えする「みえ県議会新聞」を発行し、伊勢新聞への折込のほか、県内公共施設等に配置しています。

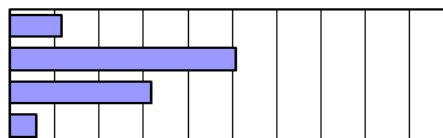
あなたは、「みえ県議会新聞」をお読みになったことはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	回答数	割合%
発行されていることを知っており、読んだことがある	69	10.8%
発行されていることを知っているが、読んだことがない	104	16.4%
発行されていることを知らなかったが、今後読んでみたい	277	43.6%
発行されていることを知らなかったが、今後も読んでみたいとは思わない	186	29.2%
合計	636	100.0%



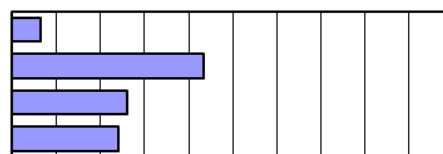
Q11. 「みえ県議会新聞」を読んだことがある方にお聞きします。あなたは、この新聞を読んでみてどう思われますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	回答数	割合%
たいへん分かりやすくもっと多く印刷・配布した方がよい	8	11.6%
分かりやすく、今までどおり続けた方がよい	35	50.7%
分かりにくいですが、内容を工夫して継続した方がよい	22	31.9%
継続しなくてよい	4	5.8%
合計	69	100.0%



(参考 平成23年の結果)

	回答数	割合%
たいへん分かりやすくもっと多く印刷・配布した方がよい	68	6.4%
分かりやすく、今までどおり続けた方がよい	465	43.5%
分かりにくいですが、内容を工夫して継続した方がよい	279	26.1%
継続しなくてよい	256	24.0%
合計	1,068	100.0%

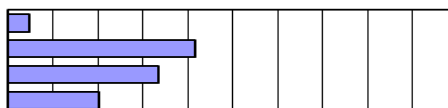


【県議会ハイライト（テレビ企画広報）について】

Q12. 三重テレビ放送において本会議中継の他に、委員会活動などをコンパクトにまとめた「三重県議会ハイライト」という、15～30分の広報番組を年間5回放送しています。

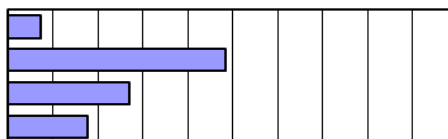
あなたはこの取り組みについて、どう思われますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	回答数	割合%
たいへん分かりやすく、もっと放送回数を増やした方がよい	30	4.7%
分かりやすく、今までどおり続けた方がよい	265	41.7%
分かりにくいのが、内容を工夫して継続した方がよい	212	33.3%
継続しなくてよい	129	20.3%
合計	636	100.0%



(参考 平成23年の結果)

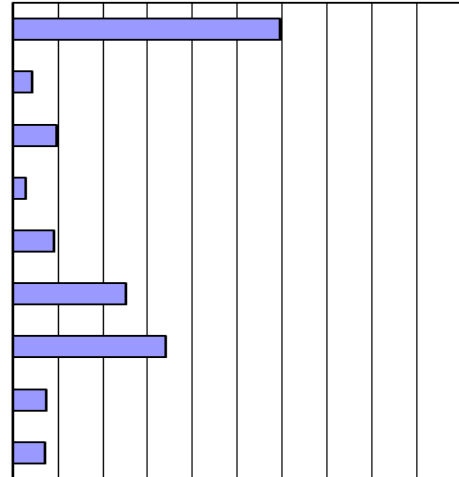
	回答数	割合%
たいへん分かりやすく、もっと放送回数を増やした方がよい	76	7.1%
分かりやすく、今までどおり続けた方がよい	516	48.3%
分かりにくいのが、内容を工夫して継続した方がよい	287	26.9%
継続しなくてよい	189	17.7%
合計	1,068	100.0%



【議会情報の入手方法】

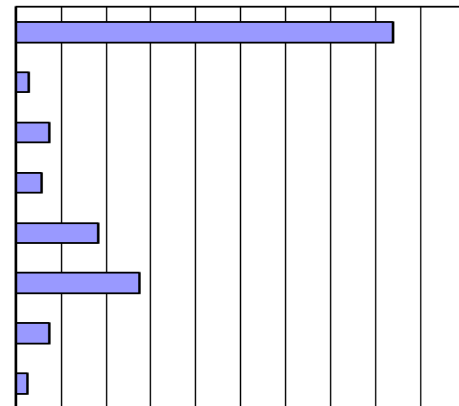
Q13. 県議会では、県民の皆さんに県議会の情報をお知らせするため、さまざまな広報事業を行っていますが、あなたは県議会の情報をどこから入手されていますか。あてはまるものを全て選んでください。

	回答数	割合%
みえ県議会だより(年7回発行、新聞折り込みによる配布)	379	59.6%
みえ県議会新聞(年2回発行、伊勢新聞折込・公共施設等配置)	26	4.1%
県議会ホームページ	61	9.6%
県議会Facebookページ	17	2.7%
県議会提供のテレビ番組(年5回、特集番組「三重県議会ハイライト」を三重テレビで放映)	58	9.1%
新聞掲載広告「広報みえ」(年1回、6紙(朝日、伊勢、産経、中日、毎日、読売))	159	25.0%
新聞・テレビの各社による報道	216	34.0%
県議会議員個人(議員が発行する議会報告紙、議員が主催する議会報告会など)	47	7.4%
その他	44	6.9%
投票者	636	



(参考 平成23年の結果)

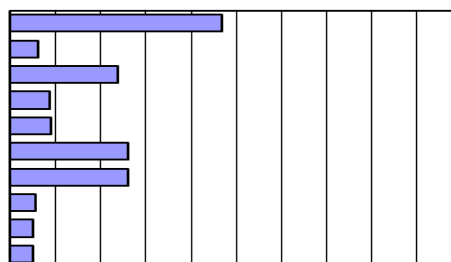
	回答数	割合%
みえ県議会だより(年6回発行、各戸配布)	897	84.0%
みえ県議会新聞(年2回発行、伊勢新聞折込・公共施設配置)	29	2.7%
県議会ホームページ	78	7.3%
県議会提供のテレビ番組(年4回、特集番組「三重県議会ハイライト」を三重テレビで放映)	61	5.7%
新聞掲載広告「広報みえ」(年1回、主要6紙)	195	18.3%
新聞・テレビの各社による報道	293	27.4%
県議会議員個人(議員が発行する議会報告紙、議員が主催する議会報告会など)	77	7.2%
その他	25	2.3%
投票者	1,068	



【今後充実させる広報手段】

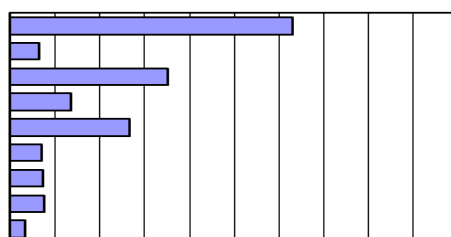
Q14. 県議会の活動を伝える手段として、今後さらに充実を図る、あるいは新たに取り組んだ方がよいと思われるものは何ですか。最もあてはまるものを2つまで選んでください。その他には、新たに取り組んだ方がよいアイデア等があれば、記載をお願いします。

	回答数	割合%
みえ県議会だより	298	46.9%
みえ県議会新聞	39	6.1%
県議会ホームページ	152	23.9%
県議会Facebookページ	55	8.6%
県議会提供のテレビ番組「県議会ハイライト」	58	9.1%
新聞掲載広告「広報みえ」	165	25.9%
ツイッターやライン等を活用した情報発信・提供	166	26.1%
県議会主催による「議会報告会」の実施	36	5.7%
県議会議員個人から	32	5.0%
その他	31	4.9%
投票者	636	



(参考 平成23年の結果)

	回答数	割合%
みえ県議会だより	672	62.9%
みえ県議会新聞	68	6.4%
ホームページ	374	35.0%
県議会提供のテレビ番組「県議会ハイライト」	146	13.7%
新聞掲載広告「広報みえ」	284	26.6%
短文投稿サイト(ツイッター等)を活用した情報発信・提供	76	7.1%
県議会主催による「議会報告会」の実施	77	7.2%
県議会議員個人から	81	7.6%
その他	35	3.3%
投票者	1,068	



IV その他

Q15. その他、県議会の役割や議会改革の取り組みなどに関し、何かご意見があれば、ご自由にお書きください。

→ 計107件のご意見をいただきました。(20～26ページ参照)

Q 2. Q 1で「県議会には関心がないが、県行政には関心がある」「県議会、県行政ともに関心がない」を選んだ方にお聞きします。その理由を教えてください。（自由記載）

→ 219件のご意見をいただきました。

興味、関心等に関するもの（93件）

- 興味ひく内容がないから！自分たちがよりよくなる情報もないから！
- 読むきっかけがないので関心がもてない。
- 内容がわかりにくいので。
- 身近な存在。意見等反映されやすい。
- 土地の人間では無いし興味がないから。
- 身近に感じない。
- 何をやっているのかよくわからないから。
- 魅力を感じない。未来のためになっているのかわからない。
- 興味がない。
- 関心がないから。
- 興味ない。
- 仕事内容を知らないから。
- 何を、どのようなことしているのか分からないから。
- 何を行っているのか感じる機会がないので関心がわきません。
- 何をしているのかよく分からない。
- 何をしているのか分からない。
- 議会で何をしているかよくわからないから。
- 活動についてあまり知らない。
- わからない。距離を感じる。
- 情報に触れる機会が無い。
- 仕事関係も含め、自分の周りにはあまり関係や影響が少ないと思うから。
- 難しすぎて興味が、関心が向かない。
- 情報が入らないから。
- 関心を持たせられるような魅力ある内容に欠けるから。
- 内容が自分にはあまり関係のないことがおおいので。
- 関心を持ちたいが、子育てで疲れて関心をもてない。
- 自分にとって遠い存在。一部の県民の声しか届かない、県庁から離れた地域だと届かない。
- 直接的にあまり関わりなさそうなイメージのため。
- 目新しい取り組みをしている印象がない。

- 身近な情報がないので、感心を持ってない。
- 結局のところ何をやっているのか、よくわからない。
- あまり自分に関係ないと思ったから。
- あまり身近に感じたことがないため。身近な、日々の生活に追われ、関心を持つ余裕や気力が不足している。一県民が何か思ったところでそんな大きな所に反映されるとは想像しにくく、何か決まればそれに従うのみというイメージがありました。
- 所詮、お偉いさんが決めることなので、興味がないですし、下々の意見が通っているとは、到底思えないから。
- 議会の話は難しく面白くなさそう。
- 末端には伝わってこないから。
- 直接ふれる機会が少なく、身近に感じにくい。
- なじみがないから。
- なにをしているのかがわからない。
- 議会で何をやっているのか目にしたり聞いたりする機会がないので興味を持たない。県の行政は生活する上できになる。
- 何をしているか分からない、議会の決定が私たちの生活にどんな影響があるかわからない。
- 何を決めているかよくわからない。自分の生活にかかわっている事が、実感できていない。
- 何をしているかイマイチわからない。興味を持って何も変わらないと思うから。
- 自分の日常生活にどのように関わっているのかよく分からないから。
- どちらについてもよく知らない
- そもそもなにをしてるかわからないから
- なんとなく
- 関心がないから
- よくわからないから
- いつ何が行われているのかも知る機会もないし、自ら知ろうとする気もないから。
- よくわからないから
- 身近に感じないので。
- よく分かっていないから
- 興味無い
- 漠然として、現在何が問題になっているのか、議論の対象になっているか、一般人の私自身がよくわかっていないため
- 深く考えたことがない。
- ある事自体が知らなかった
- 私が三重県に移動してきてまだ4年ということもあり、地元の問題は市、というイメージで、県の担当している案件が何なのかよくわからないから。

ただ、鈴木知事は、よくニュースなどでも拝見するので県政に興味がない訳ではない。

- どんな事を行なっているのか、詳しく分からないから。
- 身近でない。活動内容がわからない。
- 特にはない
- あまりよくわからない。
- よくわからない
- 興味がない。何をしてるのか、全然知らない。
- よくわからないので 関心がない
- 特に自分自身の身近なものでないから
- 関心のある内容の話し合いをしているイメージがない。
- 身近に、感じない。直接的に関係がない。
- 身近ではないから
- 興味がない。
- 県外から転居してきてあまり三重に関心がないため
- 関心がまったくないわけではないが、その他のことに時間をさきたいから
- 何をしているのかよくわからない。
- 何をしているかわからない。
- 接点が全くないので分からないため。
- 規模が大きいため、関心が無い
- 自分が生活するうえであまり関係があると感じていないから。
- 加齢による、全ての物への無力感。
- 何をやっているのか、分からない。身近に感じない。
- 何をしてるかよくわからないから。
- よくわからないから
- なにをしているのかがわからない。
- 何をしているのかよくわからない
- 家族で話題になる事も無く、情報も入ってこないので関心が持てないです。
- よくわからないから
- そもそも何をしているのか分からない。自分達への影響度が分からない。
- 何をいつどのようにしているか、知らないのです。
- 県議会が見近に感じる事がなくて、良く理解出来ていないのが一番の理由です。
- 三重県の行政をあまり知らないから
- どんな話をするかも知らないから。
- 特に理由はない。
- 行政は身近に自分にも関係してくることがありますが議会は国会自体が腐敗しており、県議会も同様の可能性があるので信用できません。
- 興味がないから。

県議（県議会）に関するもの（80件）

- 地方の県議会議員は何やってるかわからない。胡散臭いイメージしかない。ただの地元の権力者下々の平民の意見を聞いてもらえとは思えない。農家にしかメリットないのではないか。
- 県議会がよくわからない。
- 普段の生活において、県議会に関連する事柄がない。
- あまり身近に感じないから。
- 議会の内容には関心あるという意味。
- 地方政治の存在感が希薄。オリンピックのような国を巻き込むような事項ならばあるいは大きな災害が発生したなら身近に思うかもしれない。議会が動かないと身近な問題が解決しないような事柄って何があるという感じ都会と地方の差かもしれない。東京一極集中が改善されない限り地方政治は関心が向かないとおもう。
- 議論の内容、議員さんの意見、綺麗事ばかり。そんなことでは良い三重県政が行えるのかという気持ちになります。
- 広報紙などは読むが、その程度の関心でしかない。直接的に自分自身との関わりもないと感じてしまっている。
- 議会は何をしているのか議事録を見る気がないが、議会で決定されたことは知りたいから。
- 私の身近な事を議題に上がっていないから。子育て支援に力を入れて欲しい。
- 県議会なんてどうしても他人事に思えて関心がわからない。
- 議会を見たことがない。
- 議会は、身近に感じない。行政は、身近の感じる内容が多い。
- 三重県民として、実際に行われることに対して、注視しなければならないと思います。
- 県議会＝県会議員には、所属する党利党略ばかりが目立って、本当に県民の立場に立って考え提案し行動しているかいつも疑問を持っている。（不信ばかり）これこそ税金の無駄遣いであると怒っている。町の有力宅での葬式には必ず参席されているが。県側の行政に期待するのみ。
- 県議会でもどのようなことが話し合われているのか 政策が実現されているのか、情報が伝わってこない。県民の声が反映されているのかわからない
- やってほしい事を本当にやってくれるのかが、不満。
- 議員や議会への信頼度をすでに無くしている。
- 行政は身近な暮らしに直結するが、県議会の議員さんが、どう活動してくださっているのか全く分からない。
- 議会の中継など見るために時間を使いたいと思わないけれども、決定事項には生活に影響があるので関心があります。
- 県行政は あらゆるメディアを通して、具体的に活動なり案件が紹介されるが、県議会については 詳細を知ることはない。

知ろうとしないのかもしれないが、県議会或いは県議会議員が日頃、どのような活動をし、結果、県民に反映されていくのかよく判らない。

選挙の時期だけ、活動を知ることになる。

- 議会で決定した案件の、進み方に関心があります。
- 議員の多くは所属政党や地盤への忠誠を意識しすぎ、客観的な立場で必要な事案かどうかを判断できる人は少ないように思えるため。
- そもそも県議会の情報が少ない。(分かりにくい)。議会便りレベルの物ではあまり伝わってこない。
- 地元議員の主張が分からない。また議員との接点がない。
- 役にたたん。
- 知り合いの県議が多数いるから。
- 身近に感じられないから。
- 国政（国会議員）への信頼が無くなって久しく、選挙の時しか「顔」が見えない議会・議員への期待が持てない。東京都庁のゴタゴタを見ていても、政党や既得権のしごらみが‘全て’で、三重県議会が例外とは思えません。県政のムダを廃し、自然災害に備える‘先進県’たるべき姿を県民に見せられますか？ あれをしました、これをしましたと功名に走るより、こんな無駄を止めました、こんな改善をしましたとアピール出来る‘仕事’を見せる化してください。少子高齢化先進県が生き残る危機感を県議会に望みます。神頼み（伊勢神宮）では解決しませんよ。
- 私達の頭越しに色々な事が決まって決まってから決まりましたと突きつけられる感じ。
- 国会中継で足の引っ張り合いをしているのを見ているので、どうせ県も同じではないかと思うから。
- 県知事の名前ぐらいしか記憶にないため、誰だかわからない人たちがやっているという印象しかないため。
- 県議会についての情報が入りにくい。
- 県民の考えと議会の考えのずれがあると思う。
- 県議会がいつ何をしているか不明なため。
- 選挙に行ったことがない。
- 南勢の議会定数削減にかかわる醜態にただ啞然とするばかり。
- 国政ぐらいメディアにでてくると、くだらないと思う発言と賛同できる発言は区別できるが、残念ながら県政ではそれすらもない。
- 自分の身近に感じない。
- 議員報酬目的の議員が多々いる。自分・自分の出身地域の事ばかり考えており、今後の三重県の方向性について討議されていないのでは？
Q3 で知事に対する監視・評価が記されているが、議員の行いも監視・評価を行い、不芳な議員については辞職勧告でなく、強制的に辞職させる手立てを考えて頂きたい。
- そもそも政治。国政県政問わず興味がない。投票には行くが、興味を持つ

たところになにか変えられるわけもなくって感じ。行政は自分にも関係することなのでちょっとだけは関心があるかな。

- 県議会で、身近にある具体的案件が議題に上がっていない。または上がっていても知ることが無い。と感じているため。県行政については、地元三重県の発展のためにご尽力いただいている成果が県行政だと思っているのでそちらには関心がある。
- 県議会の活動について知る機会が乏しい。
- 市議会ほど身近に感じない。内容が分かりにくい。
- 県議会議員の日常の活動があまり見えてこない。先の議員定数が一旦縮小されたのに、また議員数が増えたことも明確な理由が分からない。
- 報道がほとんど無いため、活動や県民への影響や効果が見えないため。県議会だよりはあるが、正直分かりにくい。
- 自分にとって、遠いところの存在である、どこか別の世界の人たちである、という印象があり、何をしている人たちなのかもよく知らないからです。
- メジャーなメディアに出ないので。観たり聴くことがないので。
- 県議会議員の仕事ぶりがダイレクトに感じられることが少ないから。
- 議会での議題がわからない。結果決まった事を住民に周知するだけではと思う。
- 県議会の影響力がわからないから。
- 議員、政治家が信用できない。
- 県議員になじみがないから。
- 身近に感じないから。
- 議会の情報がない。(知らない。)
- 地域にわたるいろんな問題が出てきている（防災・福井原発等々）この時期県政の背策を握る議会がどういう対応をするか、行政チェックをするか非常に関心が高まる。
- 税金の使われ方に疑問が多く、市、県、国全て気になります。
- 地方議員の存在意義自体が疑問。特に三重県議員は大半が私腹を肥やすのが目的。
- 元々すごく政治に関心がある。国政も県政も市制も。
- 10大ニュースに facebook アカウントの作成が入ってる辺り、たいした事していないんだなと改めて感じた。
- 議会は茶番な感じがするので、感心がない。国会のイメージから判断してますが…
- 私たちの身近な意見を汲み取って、反映してくれないから、利権関係者のみで、話が回るから
- 直接自分たちに益になる議題も検討されない。もっと気軽に我々の希望を聞く場を周知してほしい。
- 議会での答弁などは聞かなくても、行政に反映されると思うから。
- 県議会での質疑の内容（例えば衰退する第一次産業に関する提言）が行政

に十分反映されているようにはみえない。

- 議会は行政ほどメディアに乗らないからだと思います。
- 議会での発言はダラダラ長い話し合い？のやりとりには興味ない。細かい議題は委員会でもとめ、知事が決断下すときにどうするか？には関心がある。
- 地元の県会議員がなにをしてるかも知らないため。
- 議員というものはとにかく腹黒い印象しかない。議員というものは県民の代表と思えるフシがない。
- 議員定数の件で県民を馬鹿にしている。
- 議員の活動、議会での活動が、よく見えない。
- 本当は、県議会にも関心がなくてはいけないと思っていますが、なんとなく、ちゃんとやってくれていると安心してしまっています。
- 県議会の話を聞く機会がない。聞いてもわかりにくくてピンとこない気がする。
- 県行政については自分の生活に関係してくることもあるので気になるが、県議会は自分の生活にあまり関係ない気がする。
- 議会を見ているまたは新聞によって知る機会が少ないので、議会には特に関心がありません。逆に行政については、様々な場面で利用あるいは目にする必要性から関心が
- 県民に対して感動することがほとんど見当たらない。CTVで県議会の内容見たりするが議題、質問者の意向、回答者の姿勢等から見ても、心揺る状況までに至らない。
- 県議会、県行政 共に、どんなことをしているか知る機会がないので、関心がありません。議会議員選挙の時だけ少しワイワイやっているな、ぐらいの感じです。
- 県行政が決まるには県議会が必要だが、県議会で何があったかまで気にならない。決定事項を、知ることができればよい。
- 県議会の活動内容がよくわからない。
- 県議会に興味があるのは、選挙の時だけ通常時は情報に乏しく、関心を持ってない←自分から情報を得ようとする興味もない

市町に関するもの（4件）

- 市のほうに関心を持っているので。
- 市議会に関心もてますが県議会は少し関心が薄くなってしまいます。どうしても自分の住んでいる近い問題に関心がいてしまいます。
- どちらかと言えば市政の方が身近に関心がある。三重県知事さんは関心がある。
- 昔から伊賀市は県行政や議会の関心度があまり感じ取れない。

その他（42件）

- 直接的に関係することがなく関心が持てない。新聞や広報誌などで情報が提供されているのかもしれないが、あまり気にしたことがない。
- 会社等の組織と繋がりを断って依頼、情報を得ようと努力しない限り何も入ってこない。
- ポテンシャルのある高い観光資材や産業を使いこなせない歯がゆさ。
- ニュース等からの議会活動の情報量は行政報告に比べ少ないと思う。そのため関心を寄せるに至らない。
- 私たちの生活に直接影響するような事柄がそんなになんか思っているから。
- 決まったことについて、考えるのが、効率的だから。決まる前の提案については、決定を左右する立場にないので。
- 行政書士を目指しているので県行政について活動や取り組みなどを詳しく知りたいから。
- 生活に密着するので。
- 行政は生活に関係のあることを決めるので
- 特に現在の三重県政に不満がありません。住みよい県だと思います。三重県人であることに、不満は全くないです。
- 地域の生活に密着した情報があるから。
- どんな内容について話し合われているのかが気になるため。
- 県行政は道州制に移行したほうがよい。
- 県行政の内容等が知れる。
- 特に困っていることがないから。
- 行政は自分たちにも関わってくるから。
- 県民だから
- 県行政については、自分の生活にも影響があると思うので。
- 三重県がどうして行きたいのかは気になる。
- 自分の生活に直接関係がないことが多い気がするから。
- 身近でない。何も変わらない。
- きたいできない。
- 自分の生活に関わるから
- 生活との密着度が低い
- あまり身近に感じないため。
- 行政は議会で決めたことを実際に行っているか、よい結果が出ているかに関心があります。
- 身近に感じたことがない。
- 遠い存在 身近に感じない
- 自分たちの生活にあまり関係ないから
- 身近に感じられないから
- 県行政は自身に関係ある事柄が多数ある。県議会は活動内容が全然分からないため。尚、今回の添付ファイルは読まして頂き、活動内容の一部は分かりました。

- あまり触れる機会がないため
 - 余り生活に身近に感じ無いから
 - 行政の動きは直接関係があるため。
 - 中味が見えない
 - 身近に感じることはないの
 - 考える時期がない
 - 広報誌を読んでも何も感じない
 - 何も変わらない
 - 接点が皆無です
 - 具体的に何をやっているのかを知る機会があまりないから。
-
- 他1件

Q 6. Q 5 で「あまり良い取り組みとは思わない」と答えた方にお聞きします。その理由を教えてください。（自由記載）

→ 26 件のご意見をいただきました。

方法に関するもの（1 件）

- 県民の声が反映される状況ではないから。県民の声を聴くのであれば北勢・中勢・南勢から数名ずつ集めて意見を聞き、議員や関係者は反論せずに意見の意味を考えて議会に持ち帰るべき。この人数や環境では議員の一方的な自己都合な我儘の意見を県民に押し付けてるだけ。

テーマに関するもの（5 件）

- ダイバーシティ社会など不要。
そもそものずれが大きく、税金を使う方向性にも疑問を感じる。
- その機会すらある事を知らない。特定の人達しか参加していないのでは？
多様な県民とは？若い世代から高齢の世代など、色んな生活環境の方の悩みを聞いて優先順位を、考えて欲しい。
- 極端に偏った意見の方が参加者の中心になり、それが県民の意見ととらえてしまうのではないかとの不安がある。
- 一部の地域に関しての取り組みのような気がします。
目の届かない処は陳情しても後回しで中々改善に時間がかかり過ぎて手遅れになって余計に改善が必要なることが多過ぎである。
- テーマは何か それについてどうなったか、これからどうするか、その様な情報をどう伝えているか、どう伝わったか、みえ現場 d e 県議会の事が良いか悪いかではなく、その内容が的確に伝わっているかが一番の問題と思う。残念ながら絵に描いた餅かな？、失礼・・・広報に問題かな？

回数に関するもの（4 件）

- 年 2 回は、少ないと思うため。
- 参加したいと思っているが、開催日が広く広報されているのか、わからない。2 回では、広く県民の声が届くのか疑問である。
以上ですが、現状では議会の自己満足に終わっているように思う。
- 言い方は悪いですが年二回の開催ですが、「はい、やっています」のようなアリバイ作りに見えてしまいます。もっと身近になるようアイデアを考えてもらいたいです。
- 実施することは価値があると思うが、年 2 回ではイベント程度に感じられて、意見が適切に反映されていると思えない。

人数に関するもの（2件）

- 人数が少ない。参加のハードルが高い。
- 結局、一部の人たちの、一部の考えでしか議論できてないと思う。

県議（県議会）に関するもの（3件）

- 県議会議員は、それぞれの市町村から選出された方々であり、個々に抱える問題はそれぞれ異なると思うので、議員がそれに耳を傾けるのが本意であり、改めて行う必要があるのか疑問に感じます。
- 県議会議員の仕事に関心がない。
- 時間と経費のむだでは？それよりも県議会に幅広く現場の意見を聞く場を設けた方が良いのでは。

その他（10件）

- 内容が不透明。
- 出ていくのが面倒。
思うようにしゃべれない。
- 開催地域が遠いため結局参加できない。
- はたして、突っ込んだ意見交換ができるのか疑問。形式的なものになるでしょう。
- メールの一斉送信出来る方法を考える。
- もっとユーチューブなどを活用しわかりやすく頻繁に公開する必要がある。
- 認知度が低い。
- 単なるセレモニー。
- そこで話をしてどう反映していくかがわからない。形だけでどう機能しているかがわからないから。
- 興味がないから。

Q15. その他、県議会の役割や議会改革の取り組みなどに関し、何かご意見があれば、ご自由にお書きください。

→ 107件のご意見をいただきました。

広聴に関するもの（2件）

- 目安箱のようなものを、県庁や、インターネットで収集してはどうか。
- 県民の意見や、要望が伝えやすいように、みんなの集まるようなところに意見書とか、投稿できたら県民の生の声が届くとおもいます。

広報に関するもの（17件）

- 県議会の役割や議会改革の取り組み等広報手段としてみえ県議会新聞を伊勢新聞以外にも折込んでほしい。
- twitterなどで広告をし、情報をわかりやすくしたら良いと思う。
- 日常の忙しさにかまけて県政のパンフレット等、紙媒体の情報は、積んで置くだけで終わってしまう事が多くなってしまふ。テレビでは見ておれば確実に伝わって来るので、伝わる確実性はテレビ。テレビではその日だけが紙媒体は、気が向いた時に見て必要な情報が得られる事がある。広報媒体はやはり複数あったほうが良さそうです。
- まだ距離感が感じられるので、もっともの申す機会のネットワークを配信したほうが良いと思います。
県と繋がれば、いざ地震などの災害時にも役立つと思います。ツイッターでの水の配給場所を伝えたり、電気の復旧具合の報告など多岐に活動できます。
1番働き盛りの年代が、スマートフォンを使えますから、そこに発信して、そこより上の年代に伝えるほうが早い。
まず情報が大事。あとは電気の供給。そして水くらいのつもりで、用意する時代かもしれないと思います。
- ポストに入って読むことが可能な地域と届かない地域がある様な気がします。実態追跡調査した方が良いのでは？
- 新聞を読まない世代が増えてきている。そこに対応するためSNSなどを有効に利用して、県民が情報入手しやすくなると良いと感じています。
- ツイッターとかでもアンケートはできるし今はお年寄りでもスマホを持っているのでもっとネットを活用したほうが良いと思う。気軽にアンケートに参加できるシステムがあれば県民はどっちを向いているのかとか方向性がわかりやすいのではないかな。
- 楽しくわかりやすく県民にも伝えて欲しい。
- 配られても、毎回捨てているので、印刷を廃止して、インターネット上や、

新聞の一部に掲載をして、資源の節約、紙代、印紙代の節約をしてはどうか。

- SNS での発信をもっと積極的に行うべき。
- 一般人にもわかりやすく PR して欲しい。
- 県議会だよりなどで議員の活動について知る機会はあるが、年数回では毎日どのような活動を行っているのかが詳しくわからない。県民の投票で選ばれた代表者であるので議員自らをもっと広報する取り組みを期待している。
- なかなか若い人たちまで情報が届いていません。SNS の時代なので印刷物はきっと見ていないでしょう。古い時代の人達がごちゃごちゃ言い合って、若い人たちの意見なんて通らないのが世の常だと思います。なので、なかなか興味がわかない。何のための、誰のための県議会なのでしょう。
- 若い世代は、新聞や活字そのものを読むことがあまりない。もちろん そのこと自体をいいとは思わないが、広報が目的であれば、もっとインターネットや SNS を利用したものにしないと、世代が偏る。これからの若い人たちに知ってもらってなんぼだと思う。
- 認知されていないものや、効果が分からないところに手間やお金をかけるのはやめて欲しい。逆に予算があるのはわかるけれど値段ありきでは無く必要なものには手間とお金をかける意識も持ってほしい。Facebook はまさに典型でアクティブユーザーが減りつづけているのにどういう効果を期待しているかわからない。
- 市政・国政は生活するにおいて直接関わるので関心があるのは当然ではありますが、県政となると.... 関心は薄いのが正直なところ。この機会ですべて HP など閲覧しましたが、トップページを観ても次に開けようという気にはなりません。三重県が何をやっているのかを解りやすく、Web などを上手く使って県民にお伝えする事が重要かと。
- 正直、みえ県議会だよりを読んでいると、三重県北中部の問題は南部より重要視されていない、と感じます。

議会運営、県議会全般に関するもの（４件）

- 三重県議会と比較的取り組んでいる方かと理解していますが、実際に身近かと問われるとかなりの距離感を覚えます。
- 三重県議会図書室を毎週とは言わないので土日も開放してほしい。
- 開けた議会であってほしい。
- 各部委員会で自由闊達な意見交換できるような方法（システム）の確立して、能率的な議会運営を希望。

議員の定数・報酬に関するもの（13件）

- 議員定数に関する混乱は、県民を無視しており、とても納得できない。人口比率にて定数が決まるのは、国政も同じ。国政の定数決定の根拠は、「憲法」ですよ。県政では、「憲法」の適用は無視して良いのでしょうか。
- 県民のために議員活動をしてほしい。政務活動費については所用の額と共に使用の趣旨と明細を公にして県民のチェックを受けるようにすべき。
- 議員削減。
- 行政改革と予算削減、議員定数を減らす。
- 積極的に議会を見るということがないのでどういう改革が必要なのかよくわかりません。ただ、新聞折り込みの議会だよりは気づけば読みます。議会改革はと言えば定数削減が第一に思い出されます。県民が納得できる改革ができるよう議員の皆さんの一層の学習に期待しています。
- 定数減らせ。
- 議員定数削減
- 議員定数を減らして経費の削減。「SDGs と Society5.0」などというような言葉を県民に提示して、理解されるかどうかともわからないようでは県民に愛される議会とは程遠い。
- 議員数の削減。
- 1度決めた定数削減を実現すべし。
- 議員一人ひとりが実際何しているかユーチューブなどで公開するようにしてほしい。そうしないと議員報酬が高いか安いか判断がつかない。
- 現在、県議会議員の定数について、議論がされているようだが、私たち東紀州地域で生活する有権者にとって、県議会議員が少なくなるのは、広大な地域を抱えることと共に、多様な県民の意思を反映する仕組みを作っていく立場からは、定数の削減には絶対反対である。中勢地区、北勢地区に住む有権者や県議会議員にはこの実情は分かってもらえないのか、あるいは解ろうとしないのか。理解し難いことである。何もかも、『定数を削減すればいい。』という世間の風潮に乗っているとしか思えないのである。
- 議員の人数を減らしてもいいのではないのでしょうか。

議員活動に関するもの（30件）

- 役割や取り組みの説明などをする際には、県議会の専門用語を使うのではなく、一般の人がわかりやすい言葉を使用する。
- 一番興味が持てない。実際議員がどれほどいるのかもよくわからない。
- 無駄な税金を使わないでください。
綺麗事ばかり言わないでください。
県民の実生活を、しっかりみてください。
- 県議会議員については、自分たちが選んだのであり仕方がないがもっと多くの県民の意見を聞いて(反映して)もらえる議員がほしい。それには、県議会議員選挙への投票率UPへ真剣に取り組んでほしい。それによって良

- い人材が選ばれ、本来の行政との相互チェック機能が働くのではないでしようか。
- 県議会は「身近な存在」でない。市議会のように地域に密着しておらず、国政のように重要ではない。
 - 議長のあいさつや議員の個別 PR も重要かもしれないが、議会で決議され、どういう風に行政の結果として効果が出ているのか、渡りやすく説いてほしい。議員の業績報告しか見えてこない。
 - 各市代表の県会議員が 出身市以外に（利害とは関係なく）俯瞰した県政になるように取り組んでいただきたい。各市の特性を損なうことなく。
 - 活発な情報発信は「選挙の時だけ」という印象が否めません。もっと普段着で本音を交わせる機会がぜひ望まれます。ちなみに県会議員の名前はパッと問われても誰一人知りません。わたし個人の問題だけではないように想像します。
 - 議員が三重県を良くするためにどのような行動をしたか、第三者が評価し次回の選挙で投票するための基準を作って欲しい。毎年税金で外遊しているが、どんな成果を挙げたのか、議員個人個人の見解を発表させるべきである。
 - していることがわからないことが多いので、もっと身近にわかるような工夫をしてほしい。もっと現場に足を運んで欲しい。
 - まだまだ身近には、ならないかな。出来るだけ身近になれば、もっといいとおもいます。
 - 議員が質問して、行政側が答えるという形式ではなくて、財政状況などをも含め互いの意見を論じ合い、ディベートして、議員の質問に対する結論をその都度出すという議会形式に変えて欲しい。県民は、結論が見えてわかり易くなる事で県政への距離が縮まる事が期待出来ると共に、議員側もよく勉強して行政側と対等にディベート出来る知識や教養が必要となり、その結果、県議会の質の向上が期待出来る。
 - 県民のための政治をしてほしい。政治に信頼を取り戻してほしい。議員はボランティアにすべき。
 - 過大な流域下水道計画などに対して、全く議会の役割を果たせなかった。むしろ、リーマンショックと市民の手弁当の訴訟がそれを食い止めた。議会はもっと真剣に県税の使い道に目を光らせて行政の暴走を食い止めて、正常な地方自治運営を実現して欲しい。それから、教育にはもっと予算を割くべきです。身分の不安定な人（講師）に大切な教育を任せておいていいとは思えません。
 - 市町からの要請、要望について、実現に向けて努力をお願いしたい。県の中勢、北勢地方はそれなりに発展しているが、南勢地方については過疎化が進み県のバランスが取れていない。南勢地方の特性を生かした発展

のために努力をお願いしたい。

市民の身近な議員であるため、議員からも県の情報を発信していただきたい。

- 個人的に身近な親しい方が、県議会議員を御勤めであり、議会の内容については、関心を持っています。また、更なる議会の活動に期待をしています。もし機会があれば、県民の要望を議会（議員）が聞く機会を設定していただければ幸いです。（行政との共同開催を希望します。）
- 県議会と言うよりも、県議の「先生」と縁遠く、情報に接する機会は強いて求めている。
県議の数が多いとか、地域の「ボスの存在」～俺を知らんのか？と言われた御仁が県議を務めているとか、県議、並びに県議会には良い印象を持っていない。
- 各選挙区選出議員は定期的に各地区において議会報告会を行い県民に議会報告をすべきである。
- 選挙前しか地域での議員の活動が見えてこない。
費用 対 効果 大丈夫でしょうか？
- 県議は、県民の為と言うか、自分たちのためにだけいるような気がします。
県議員削減にしても、再度、議決して元通りの定数にするなんて、その何物でもありません。あれには、あきれると言うよりわらっちゃいました。
地元の代表というなら、県議は県民の為にあるのでしょうか。それで十分成り立つはずです。
- 県議会がどうのこうのより、まずは若い世代に興味を持ち、参加してもらわないと何をやっても意味ないと思います。
- 県議会の議員の方を知っていると、面白半分で見えていたりしましたが、けっこう勉強になると思いました。
どうしても堅苦しさがあ、もう少し身近に感じられるようになれば、と思います。
- 議員一人ひとりが実際何しているかユーチューブなどで公開するようにしてほしい。そうしないと議員報酬が高いか安いかわからない。
- 県議会の仕事が身近に感じられない。失礼ですが旧態依然とした行政だとしたら今後の将来を見つめて修正すべきところは修正していただきたい。
特にこの財政難、箱モノ行政や必要のない道路の建設などの公共事業の予算配分の見直し、自然災害への工夫のある備え（お金だけかけるのではなく）、文化を大事にする行政気風、若い人や子供たちが住みたい働きたいと思う三重づくりを願います。市民が作り上げる下からのエネルギーの発掘とバックアップという行政作りでないと未来が見えてきません。また市町村への財政面を含めばらつき軽重があるのも事実で、何とか出来るだけ平等に享受できるよう配慮していただきたいです。
- 議会とか特に若い人には何をしているのかあまりわからないので、もっとフランクな感じで親しみやすく県民の意見をしっかり聞く組織であって

ほしい。

- 県政には関心を持つようにしています。
しかし、残念ながら私の居住地の県会議員の方の中にはどのような活動をしているのか全く分からない方もいます。
失礼ですがその方の実物を見たこともなければ写真すら見たことがありません。
自分の選挙区の衰退ぶりをどのように感じ、どのような政策を考えているのか一度質問してみたいものです。
- 全ての県民に議会活動を見えやすくし、腐敗のない透明性の高い運営を行い信用を確固とすることが必要だと思います。
- 県議会での取り組みを数字・グラフ、イラストで表せないか。また、県議会での発言、取り組みがどのような成果になったのかもわかりやすく表示してほしい。
- 議員個人の活動は郵送で届いたりするけれども全体の情報が入ってこない、広報こない、手に入る場所もない、テレビ観ない、新聞来ない。三重県の南の果てなので県民に入れてもらっていると思えない。県内の情報も行政サービスも公平ではないのに義務はあるので、もっと僻地にも目を向けて欲しいし。そうでないなら紀和町和気は和歌山県新宮市に合併して欲しい。
- 県民と県議会の関係性は疎遠に感じる。選挙時以外の繋がりが感じない。個人の活動報告（ポスティング等）や地域のイベント等のあいさつで取組内容を聞いてみたいです。

その他（41件）

- 行政がまともなら民度も高いはず。帰郷するまで他県に住んで、そこも相当民度が低くて不快だったが、三重に帰ってきて三重も相当民度が低くて恥ずかしくなる。
- むだな予算や無駄な補助金、無駄が多い。
- 市町村は中学生までの子育て支援を、していると思います。三重県として、高校、大学生の支援を取り組む事を考えて欲しい。
- 地元での勉強会や報告会、意見交換会を中学校区でしてほしい。
- もう少し、自分も関心を持つようにしたい。
- 県の重要な事項を決める割には、国会や市会よりも印象が低いと思います。
- 我々の三重県が安全安心して暮らせる自治体になるように、あらゆる角度から議論を尽くして頂けるよう希望します。
- 僻地過疎地区の意見だったり要望に耳を傾けて討論し改善に繋げる。
- もっと市民の意見をきき、身近な問題を議論してほしい。中学生までの子供手当を、教育費がかかる高校、大学生まで伸ばして欲しい。
- 現在の問題点、どのように解決するのか、結果どうなったか、良かった、悪かった、悪かったのはなぜかが必要ではと思う。
- 全くわからない人にでも身近に感じられるようなものにしてもらいたい。

- 中期ビジョン（数年後）と長期ビジョン（10年後）を良い事や嫌な事にも垣根を設けずに、正直に示して欲しい
- 道州制への移行を考えたほうがよい。
- 県民の意見や、要望が伝えやすいように、みんなの集まるようなところに意見書とか、投稿できたら県民の生の声が届くとおもいます。
- 三重県の予算が少ないが少ないのは分かるが、例年消極的な感じがする。三重県が発展する案よりも環境問題など万人ウケする内容が多い。文句を言われぬような予算の使い方が目立つ。もっと攻めた事をどんどんやってほしい。
プロスポーツを誘致したり、そのための施設を充実させたりとか。もちろん三重県にお金がないのは承知している。
ですが、面白くない県に住んでいる気がしてならない。
県会議員のみなさんには、もっと三重県が元気がでる案を考えてほしい。
- 個々人のやりたいようにやって欲しい。
- 良く理解出来ていませんが、簡単に理解出来る資料があれば嬉しいです。
- 役割や活動内容がよくわかりません。県民に周知してほしい。
- もっと地域に根差して欲しい。改善要求沢山あります。困りごとも多いです。
- 特にございません。（他15件）
- 関心がないので 関心を持てる様に 身近なものになれば
- 現在の三重県における課題、県民の要望には、どのようなものがあるか教えてほしい。
- どんどん改革して行って欲しい
- 県の事をわかりやすく教えてください。
- 出張議会など、他の市町村でもやってほしい。
- 県内公立中学校の自校調理方式による完全給食を実施の取り組みを進めてください。

(Q16 三重県議会の広聴広報及び三重県議会の活動10大ニュースに関するアンケート(10大ニュースの選定))

「2019年 三重県議会の活動10大ニュース」の発表について

三重県議会の活動10大ニュースは、県議会の活動内容を広く発信することで県民の皆さんに県議会への関心を持っていただくとともに、参加意識を高めていただけるよう、県議会のホームページやeモニター等を活用して毎年選定を行っています。

この度、「2019年 三重県議会の活動10大ニュース」として以下の取組を選定しました。

※三重県議会の基本方向(平成15年10月決議)ごとに区分して記載しています。

【開かれた議会運営の実現】

- 県議会 Facebook ページの運用開始《「いいね」上昇中!》 (3月)
- 県議会新体制発足《決意新たに議会活動をスタート!》 (5月)

【住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進】

- 「三重県議会 議会活動計画」を策定《今後4年間の取組をあきらかに!》 (9月)
- 豚コレラへの対応《補正予算先議、国への意見書を提出など!》 (9月)

【独自の政策提言と政策立案の強化】

- 「外国人労働者支援調査特別委員会」を設置《参考人招致などにより精力的に調査!》 (5月)
- 「大規模地震対応マニュアル」の改訂《大規模災害時の議員の行動等を明示!》 (6月)

【分権時代を切り開く交流・連携の推進】

- 議会活力度調査で全国第1位《議会活動の取組が評価!》 (8月)

【議員報酬、政務活動費及び選挙など】

- 議員報酬及び政務活動費削減を開始《議員報酬月額10%、政務活動費30%減額!》 (5月)
- 「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置《外部有識者による調査をスタート!》 (6月)

【その他】

- インターンシップ実習生を受入れ《県議会の広聴広報について提言!》 (9月)

<選定方法>

1. 10大ニュースの候補として18項目(自由記載を除く)をリストアップ
2. 次の方法により投票を実施(投票期間:令和元年11月22日~12月6日)
 - ・県議会ホームページからの投票
 - ・県議会傍聴者による投票
 - ・eモニターによる投票
 - ・県議会議員による投票
3. 正副議長が投票の結果を参考に10大ニュースを選定

2019年三重県議会の活動10大ニュースの投票結果

No.	項 目	内 訳					
		HP閲覧者・傍聴者		e-モニター		議員	
		得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
1	県議会 Facebook ページの運用開始《「いいね」上昇中！》(3月)	54	52.9%	100	15.7%	28	60.9%
2	県議会新体制発足《決意新たに議会活動をスタート！》(5月)	45	44.1%	120	18.9%	22	47.8%
3	第2回「みえ現場 de 県議会」のテーマ等を募集《県議会初の公募！》(10月)	30	29.4%	90	14.2%	10	21.7%
4	第1回「みえ現場 de 県議会～水産業の振興～」を開催 《早田(はいだ)漁港で討論！》(11月)	27	26.5%	89	14.0%	13	28.3%
5	4年間の議会活動を検証《次期活動計画にバトンをつなぐ！》(3月)	21	20.6%	97	15.3%	8	17.4%
6	「令和元年版成果レポート」に関し申し入れ 《全常任委員長から知事へ！》(8月)	4	3.9%	62	9.7%	11	23.9%
7	「三重県議会 議会活動計画」を策定《今後4年間の取組をあきらかに！》(9月)	33	32.4%	99	15.6%	10	21.7%
8	豚コレラへの対応《補正予算先議、国への意見書を提出など！》(9月)	61	59.8%	317	49.8%	39	84.8%
9	「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」等に関し申し入れ 《正副議長等から知事へ！》(11月)	20	19.6%	56	8.8%	16	34.8%
10	「外国人労働者支援調査特別委員会」を設置 《参考人招致などにより精力的に調査！》(5月)	42	41.2%	124	19.5%	28	60.9%
11	「大規模地震対応マニュアル」の改訂 《大規模災害時の議員の行動等を明示！》(6月)	38	37.3%	300	47.2%	14	30.4%
12	「議員勉強会」を2回開催《テーマは SDGs と Society5.0！》(6月、7月)	21	20.6%	23	3.6%	22	47.8%
13	紀伊半島三県議会交流会議を開催《共通課題について国へ要望！》 (7月)	17	16.7%	75	11.8%	2	4.3%
14	議会活力度調査で全国第1位《議会活動の取組が評価！》(8月)	43	42.2%	108	17.0%	28	60.9%
15	議員報酬及び政務活動費削減を開始 《議員報酬月額10%、政務活動費30%減額！》(5月)	51	50.0%	215	33.8%	36	78.3%
16	「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置 《外部有識者による調査をスタート！》(6月)	56	54.9%	103	16.2%	31	67.4%
17	ポッチャ及びSSピンポンの議員体験会を開催 《三重とこわか大会に向けてPR！》(1月、10月)	24	23.5%	64	10.1%	20	43.5%
18	インターンシップ実習生を受入れ《県議会の広聴広報について提言！》 (9月)	28	27.5%	122	19.2%	3	6.5%
19	その他	1	1.0%	38	6.0%	0	0.0%
得票総数		616		2,202		341	
投票者数(投票者総数:784人)		102		636		46	

※得票率：得票数/投票者数

※e-モニター登録者数:1071人(回答率59.4%)

※傍聴者の投票者数:31人

※HP閲覧者の投票者数:71人

2019年 三重県議会の活動10大ニュース（概要）

（令和元年1月12日現在）

～開かれた議会運営の実現～

3月	県議会 Facebook ページの運用開始《「いいね」上昇中！》
<p>「開かれた県議会」を推進し、県民の皆さまに県議会の活動について一層のご理解をいただけるよう、3月からSNSサービスの一つである「Facebook」による情報発信を行っています。</p> <p>10月にはページへの「いいね！」が1500を超えました。</p> <p>【Facebookによる情報発信の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会日程、議会中継、議会提供番組のご案内 ・議会主催事業のご案内、催し物のご紹介 ・議長定例記者会見内容のご紹介 <p>など</p>	



「いいね」を呼びかける正副議長

5月	県議会新体制発足《決意新たに議会活動をスタート！》
<p>5月に正副議長選挙を行い、議長に中嶋年規議員（自由民主党県議団、志摩市選出）、副議長に北川裕之議員（新政みえ、名張市選出）を選出しました。また、7つの常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会の正副委員長や委員などの選出も行い、県議会の新体制が発足しました。</p> <p>【会派構成（7会派）】</p> <p>新政みえ21人、自由民主党県議団15人、^{そうもう}草莽6人、自民党5人、公明党2人、日本共産党1人、草の根運動いが1人</p>	



議長選挙の様子

～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～

9月	「三重県議会 議会活動計画」を策定《今後4年間の取組をあきらかに！》
<p>4月に「三重県議会 議会活動計画」の計画期間が終了したことから、代表者会議からの依頼を受け、議会改革推進会議において、今議員任期4年間の新しい「三重県議会 議会活動計画」の策定に向けた検討を行い、案を作成しました。</p> <p>9月には、代表者会議において新しい「三重県議会 議会活動計画」を決定しました。</p> <div data-bbox="981 412 1514 763" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1062 779 1436 813" data-label="Caption"> <p>議会改革推進会議総会の様子</p> </div>	

9月	豚コレラへの対応《補正予算先議、国への意見書を提出など！》
<p>平成30年9月に、豚コレラが、国内で26年ぶりに発生し、膨大な数の豚が殺処分されるなど、甚大な被害が生じています。</p> <p>県議会では、本年6月に「豚コレラ対策の強化を求める意見書」を全会一致で可決し、国関係機関等へ提出しました。その後、本年7月24日に県内の養豚農場においても豚コレラの発生が確認されたため、本年8月1日には、意見書の項目について、議長から農林水産大臣に対し、直接要望を行いました。</p> <p>また、9月定例会議では、豚コレラ対策に関連する補正予算案について、1日でも早く対策が行えるよう、他の議案に先駆けて議決を行いました。</p> <p>さらに、飼養豚への予防的ワクチン接種が実施されることとなったことを受けて、本年10月には「豚コレラ対策の更なる強化を求める意見書」を全会一致で可決し、国関係機関等へ提出しました。</p> <div data-bbox="981 1182 1506 1518" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1090 1552 1406 1585" data-label="Caption"> <p>農林水産大臣に直接要望</p> </div>	

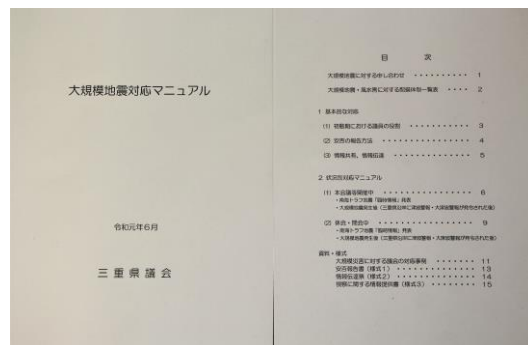
～独自の政策提言と政策立案の強化～

5月	「外国人労働者支援調査特別委員会」を設置 《参考人招致などにより精力的に調査！》
<p>「出入国管理及び難民認定法」の改正による新たな在留資格の創設等により、外国人労働者のさらなる増加が予想されることを受け、5月に「外国人労働者支援調査特別委員会」を設置しました。</p> <p>委員会では、外国人労働者も含めた三重県で暮らす全ての人々が、安心して働き、生活することができるよう、日本語教育の支援、三重県多文化共生総合相談ワンストップセンターの在り方、外国人労働者に対する企業等の関わりなどについて、現状を把握し、どのような支援が必要なのか調査していくこととしています。6月、8月、10月に参考人招致を実施するなど、精力的に調査を続けています。</p>	




外国人労働者支援調査特別委員会の様子

6月	「大規模地震対応マニュアル」の改訂《大規模災害時の議員の行動等を明示！》
<p>平成30年6月、近年の大規模災害の発生等に鑑み、三重県議会基本条例において議会における大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する規定を整備するとともに、本年3月に、「大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する三重県議会指針」等を策定しました。これらを受けて、国や県当局の当面の防災対応等も踏まえ、本年6月、大規模地震対応マニュアルの改訂を行いました。改訂されたマニュアルは、主に、災害発生後72時間の初動期の対応に重点を置いたものとなっています。</p>	




大規模地震対応マニュアル抜粋

～分権時代を切り開く交流・連携の推進～

8月	議会活力度調査で全国第1位《議会活動の取組が評価！》
<p>8月に、日本経済新聞産業地域研究所が47都道府県を対象に実施した議会活力度調査のランキングで、三重県議会が総合順位で第1位となりました。</p> <p>分野別では、「議会運営」で1位となり、議会基本条例を都道府県で初めて制定したこと、県政の重要課題について県民や関係団体と意見交換する「みえ現場 de 県議会」、学校へ講師として議員が出向く「出前講座」、高校生が県議会を体験する「高校生県議会」の開催などの取組が評価されました。</p>	
<div style="text-align: right;">  <p>議会活力度調査結果を示す正副議長</p> </div>	

～議員報酬、政務活動費及び選挙など～

5月	議員報酬及び政務活動費削減を開始 《議員報酬月額10%、政務活動費30%減額！》
<p>平成30年7月に、議会改革推進会議の下に「議会経費削減に関する検討プロジェクト会議」を設置し、10名の議員で議会経費の削減について検討を行い、本年2月に、令和元年5月から令和5年4月までの間、議員報酬を月額10%、政務活動費の交付額を30%減額する、との検討結果報告を取りまとめました。</p> <p>この検討結果に基づき、本年3月に議員報酬および政務活動費を4年間削減する関係条例の改正が行われ、同年5月より削減が始まりました。</p>	
<div style="text-align: right;">  <p>議会経費削減に関する検討プロジェクト会議からの検討結果報告</p> </div>	

6月	「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置 《外部有識者による調査をスタート！》
<p>6月に、三重県議会における選挙区及び定数の在り方について調査するため、「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置しました。</p> <p>大学教授など外部の有識者8名を委員として、「人口減少・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割」とそれらを踏まえた「三重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方」についての調査・報告を求めることとし、調査が進められています。</p>	
<div data-bbox="992 398 1503 725" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="986 748 1485 824" data-label="Caption"> <p>選挙区及び定数に関する在り方調査会の様子</p> </div>	

～その他～

9月	インターンシップ実習生を受入れ《県議会の広聴広報について提言！》
<p>議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、大学院で公共政策に関連する研究を行っている学生を毎年インターンシップ実習生として受け入れています。</p> <p>令和元年度は、9月に三重大学大学院の学生を実習生として受け入れました。実習生は、9日間に渡り、県議会や県議会議員の役割等について学び、実習の成果を発表する報告会では、議会に対し、「議会改革と広聴広報」というテーマでみえ現場 de 県議会のスケールアップという政策提言をしました。</p>	
<div data-bbox="1018 1128 1487 1473" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1034 1491 1501 1523" data-label="Caption"> <p>インターンシップ実習生報告会の様子</p> </div>	